

## グラフを見て

結果のグラフを見てみると、どの項目も「とてもそう思う」「そう思う」の合計が60%を超えています。「ややそう思う」を加えると80%を超えています。保護者の皆さんが基本的には「このこども園に預けて良かった」と思ってくださっているということですね。

「12.お子様は、家で園のことや保育者のことを話しますか」の項目の数値が低いですが、これは、まだ言葉が出ないお子さんもいらっしゃるでしょうし、もともと口数の少ない性格のお子さんもいて当たり前なので、数値が低くなるのはしかたがないことかと思えます。話すかどうかよりも、喜んでいるか嫌がっているか表情や様子を見るのが大切ですね。

## 自由記述欄を読んで

自由記述欄には「すごく助かっています」「子どもにとって保育園は安心できる場所」「違うクラスの先生方も子どもの名前を覚えて話しかけて下さり、いつも暖かいお気持ちを頂いています」「よく先生ごっこをしています」「帰ってきたら、いつも楽しかったと言います」「クッキングや園外保育など、いろんな体験をさせていただいて嬉しいです」などなど書いていただいています。嬉しいですね。

そして、いくつものご提案も書いてあります。「思っていることを言えない・本音を書けないママもいるようなので、私は書きます」と園が良くなるようにと思い切ってご指摘くださっている方もおられます。ありがたいですね。園は、このようなご指摘をいかに真摯に受け止め、みんなで話し合い、改善していくか。どうしても無理なことは、その理由や方針をきちんと説明していく。ここが、どんな園に成長していくかの大切なポイントです。

ご指摘やご提案の中身を見ていきましょう。

### ・靴を脱ぐところ

「バリアフリー（自体は良いと思うが）で段差がないので、どこで靴を脱げばいいのかわからない。靴を脱いで邪魔にならないような場所に置くと、上がるまでに雨天時など靴下が濡れてしまう。座って靴を履く子ども用に椅子を置いてあるが足りない時がある」

これは、工夫して改善しなくてはなりませんね。まだできて間もない園で、斬新なバリアフリーの園は珍しいので、すのこなどを置いてみるなど工夫・改善して、バリアフリーの園はこんなふうにするとうまいというモデル園になりましょう。

### ・保育者のあり様

「お迎えに行った際に、園での様子を一言でも教えていただける先生と、何も言わずにさ

よならと言われる先生がいる」「高圧的な先生がいる」「子どもが怖がる先生がいる」「お弁当が必要な時などは、アプリのみの連絡ではなく口頭でも伝えてほしい」「怪我した時の報告がなかったことがあった」「おたより帳がない分、園での様子がわからない」

働き方改革もあり保育者も休憩時間を取るのもので、交代の保育者がお迎え時の対応をすることもあると思います。しかし、だからと言ってケガの報告がなかったり、その日の様子を伝えられないようでは、おうちの人には不安になってしまいますよね。保育者が交代する時に口頭で伝える・保育室にホワイトボードなどを置き、その日の様子やお弁当など大切な伝えることをメモしておく・朝からの様子を知っている保育者がひとりには残る…など、園の先生方は相談して工夫していきましょう。

それから、園はポートフォリオ（写真入りの報告書）を発行しています。園の先生方は作るの大変だとは思いますが、おたより帳がない分、はりきって作り続けましょうね。

「高圧的」「子どもが怖がる」保育者！？びっくりしてしまいますね。でも、ひょっとしたら緊張のあまり固まってしまって、そんなふうに見えたのかもしれませんが。しかし、それでは困ります。園長先生に相談してください。お話してもらいましょう。他の先生方も「いつでも相談にのりますよ」というお気持ちでにこやかにしていただくといいですね。

#### ・写真が欲しい

コドモンを使って写真の閲覧ができるように準備中です。今しばらくお待ちください。

#### ・ハロウィンの仮装は必要？

「お金がかかるし…」

本当ですね。やりたい子だけと言われても、我が子から自分もしたいと言われると困ってしまいますね。

園長先生に伺ってみました。園で貸し出し用の衣装は準備してあるそうです。みなさんにお知らせできていなかったようですね。こういうお知らせはきちんとしていただかないといけませんね。

#### ・白い靴下

「七五三の靴下の件、もう少し早く連絡欲しかったです。白いハイソックス、なかなか売ってなくて…」

それは大変でしたね。購入が必要な物は、時間に余裕をもって連絡してもらわなくてははいけませんね。

#### ・忘れ物への対応

「持ち物等忘れた時も柔軟に対応してほしい」

えっ？柔軟に対応してもらえなかったのですか？びっくりですね。

持ち物は早めに知らせる。おうちの方は、忘れないよう気を付ける。だけど、人間ですから誰でも抜けることがあります。園は余分に用意しておくなどして、子ども達が困らないように柔軟な対応をしましょう。

・平日の行事に参加できない

おうちの方が参加する行事が平日にあったのですか？前もってお知らせしていなかったのですか？もっとも、前もって知らされていても、どうしても参加できない時ってありますよね。何日かに分けてできる行事なら（保育参観や保育参加など）候補日を複数用意して選んでもらうなど、園は工夫しましょう。

・駐車場

「道の駅利用者の方が園優先の駐車場に停めてあることが、ここ最近増えています」

道の駅にある園ならではの悩みですね。送迎の時に停められないと困りますね。園から道の駅の担当の方に相談してもらいましょう。

以上、アドバイザーの庄籠（しょうごもり）道子からの、保護者アンケートを見ての気づきでした。

保護者と保育者は、子育ての両輪だとよく言われますね。お互いにお互いの大変さを思いやりつつ、これで困っている・こうした方がいいのでは…と相談・提案しあって、ひよ子子ども園カゼマチがより良くなっていくようにしましょう。ひよ子子ども園カゼマチは新しくできた園です。まだまだこれから伸びて行く園です。これからどんな園になっていくか、楽しみです。